昭和四年三月廿九日 第三種郵便物認可
（十一日夕刊）昭和五年一月十二日 THE TOHOKU.NICHINICHI,SHINBUN （日曜日）第三百廿七号

夕刊 東北日日新聞
年中無休刊
本紙一ヶ月三十錢 郵税一五錢一部三錢
廣告料一行五〇錢 場所指定二〇錢增
發行兼編輯印刷人 石井孝
發行所 福島縣石城郡平町白銀町十番地 東北日日新聞社 電八五二

來るべき總選擧に 野崎滿藏氏の出馬說

運動資金一万圓小田吉次氏提供 比佐氏の地盤と關係なしに

本縣第三區石、双、相三郡の内石城郡を地盤として民政黨縣議野崎滿藏氏が比佐代議士と共に解散後出馬せんと計劃をすゝめてゐる……といふ噂が專ら傳へられてゐることは既報の如くである去る八日

一代の 炭礦成金小田吉次氏は新年會を兼ねて五十の祝ひを平町某旗亭に催したその際民政黨石城部會の幹部も多數招待されたが小田氏は席上「野崎が出馬するなら運動資金として一萬圓位は提供しよう場合によつてはそれ以上の額を支出するも差支へない……」といふことを

公言し たので野崎氏の出馬說は全く表面化するに至つた右に就て某石城民政黨幹部は語る

野崎氏の出馬に間しては一部同志の者すら種々宣傳してゐるやうだが第三區は努力の如何によつては立派に二名乃至は三名の代議士をわが黨より選出し得る可能性があるのだから敢て比佐氏の地盤を侵さずとも野崎氏が出馬すれば或は當選を見ないとも限らぬ故にわれ〳〵は出來得ることなら石城郡を中心として二名の候補者を送りたいと思つて居る云々

愈々明十二日 石城政友三縣議の

慰勞會谷口樓に開催 申込者豫定數を突破

（既報）石城政友部會主催石城郡選出の鈴木、古川、山崎三縣議慰勞會はいよ〳〵明十二日午後一時から谷口樓に於て開催される事となつたが出席申込者は現在豫定數以上に達してゐるので頗る盛會を豫想されて居る

民業を壓迫する 官營製炭事業

需要期に入つてまたも事業廢止の論起る

目下木炭の需要季節で京濱方面からは最も多量な注文をうけるのが例だが今年は殆んど三四割を減じて漸や形ばかりの好景氣を呈してゐるにすぎずそれに本月末ころからは旱害救濟のため拂ひ下げた

材料を もつて製炭する結果來月初旬ころは從來の製炭の上に更に多量の木炭をドシ〳〵販出することになり相場の低落を豫想されてゐるのにこゝに又民間同業者を壓迫する官行製炭事業のあることは甚だ面白からずと見られてゐる

即ち東京營林局管内植田營林署においては一冬期間に二萬俵以上平營林署においては十萬俵を製炭して最も安價に賣出してゐるのでその影響は忽ち民間製炭業者に及び尠からぬ打擊を來たしてゐる斯くして官業が民業を壓迫すること尠からぬ實狀なので今や

全郡下 においては農林省に對してそれ等事業の廢止をまた〳〵希望するに至つたことは相當重要視されてゐる

電燈料値下期成 同盟會を組織

昨日の區長會で決定 十六日に委員會開催

平町に於ける電燈料値下げ問題協議の區長會は十日午後四時から平町役場に於て開き値下運動方法に就て協議を重ねた結果全町各戸に於て

値下げ の可否を調査したのに依ると殆んど全部が候下げに贊成してゐるの會社が値下げを斷行せねば電氣を一切使用しない事並びに裁判所に料金を供托して不納同盟をなす事等の強かう論も出たが結局持久戰に入るものと見て減燭を斷行する事並に鐵柱街燈料金を納入せざる事に決定し平町に各區が

中心に なり電氣料値下期成同盟會を組織する事になつたが實行委員として區長中から十二名の委員を擧げ來る十六日に第一回の委員協議會を開催する事になつた

寒い日が なほ續きます

連日の寒冷は依然やわらぐ模樣もない小名濱測候所は左の如語つてゐる

九日最低氣温は〇點下七度一で正午になつてやつと〇點下二度四となつてゐる平年より約四度位低く本縣では山沿ひ地方は小雪を見て居る北陸北海道方面は吹雪のところもある表日本は一体に天氣がよいが高氣壓が七百八十二で北支那に勢力を張り低氣壓は七百五十でカムチヤツカにあつて西高東低の嚴寒の氣壓配置で寒い日が尚續くであらう

△兩署でも注意

植田町では十一日午前十時から管内飲食店主酌婦等を招致新取締令に間する注意を與へた尚四倉署でも十三日同樣の注意を與へる由

△内郷村の火事

石城郡内郷村高坂農青木兼次郎方から昨十日午後八時頃發火同家を全燒の上同八時半鎭火したが損害約三百圓原因平署で取調中

駄菓子屋の妻君

▲▲▲前科五犯の男と大格闘▲▲▲

店の駄菓子を盜まれ 昨朝内郷綴驛前の活劇

埼玉縣旭村生れ當時住所不定前科五犯久保茂十郎（三六）が九日午前八時頃石城郡内郷村綴驛前雜くわ商小峰竹次郎方の店先から駄菓子一圓六十錢分を窃取逃走したのを竹次郎の妻が發見奥座敷から素足のまゝで追跡大格闘の末取押へ平署へ突き出したが朝の事とて彌次馬も加はり非常な大騷ぎであつた

△納税活動寫眞

仙臺税務監督局主催の納税に關する活動寫眞大會は來る十六日午後五時から平町聚樂館で開催

增尾木工場 愈々事業開始

最新式機械を据付

平町仲町增尾甚市郎氏はかねて出願中であつた最新式獨逸製新製材機据付の許可が此の程あつたので愈々製材業を開始する事となつた此の機械は增尾氏が自慢になるだけあつて總て新式でありこれによる建築材などは從來のに比しはるかに安價で且つ仕上りが極めて迅速なために假りに一ケ月を要する家屋建築は僅かに十日位で竣工するとこふのであるが各方部から非常に期待されてゐる

久ノ濱町の 火防標語募集

四倉署では火防督勵のため久ノ濱町に於て火防督勵の標語を募集したが左の如く當選した

一等 荒川シズイ（一四）身の廻りより火の廻り
二等 吉田ヨシイ（一三）火事も吾身の油斷から
同 佐藤善彌（一五）火は一代うらみは末代

正確 体温器 寒暖計 関内藥局 電四〇番

ムテキ 阿康藥店 電話四四番

★動力使用最新 獨逸式製材機取付
製板製材 並びに諸建築 用材一式請負
迅速！叮嚀！安價！
平町仲町 增尾甚市郎 電話四六九番

增尾木工場

洋食＝美味で……お手輕
喫茶＝紅茶、コーヒー、コヽア
宴會＝洋式でも日本式でも……
出前＝迅速に致します
平驛前通り
こんぱる
電話六六六番

愈々今日から
金貨引かへへも由自
今までの罰則は取り退けられて
金輸出禁止解除さる

いよ〳〵今十一日を以て金の輸出禁止が解除され一般の要求者に對しても自由に兌換されることになつた即ち大正六年の九月十日以來大藏省令で

金貨や 金の地金を外國に移出することを禁じ更に金貨の鑄潰しと毀傷を禁じたので『事實上この券引換に〇圓相渡可申候』の文句は空文の形ちになつてゐた譯であるが禁止以來丁度十二年四ケ月振りの十一日からは五圓、十圓、二十圓百圓などとお札に表記してある通りに

別段の 制限なく日本銀行の出納局の窓口で山吹色の金貨に引きかへてもらへることになるのである、そこで外國への支拂ひの爲めに金貨が引出されることは勿論であるが一方物珍しさに引きかへを求めるものもあれば營業上の必要から引き換へを要求するものも尠くないであらう、今までは金貨や金の地金を外國へ持ち出したり金貨をゐつぶしたりこはしたりするものに對しては

罰則が あつたのでいろ〳〵といひ拔けて引換へてもらつても住所氏名を記入した帳簿が日銀出納局に備へつけてあつて怪しと思ふ所あれば警察から人をやつて内々調べたりするやうな事もあつたのであるがこれ等の罰則も一切解除されて古い太政官布告のゐつぶし禁止も罰則がないとなると年々一千數百萬圓の金の地金を消費してゐる齒科醫やかざり屋等が普通地金の純金定量の

困難な 事情やら地金屋の手數料やらの關係で自然五圓紙幣で正味一匁の金くわを引き換へて自分の營業に必要なだけゐつぶすることも遠慮なく行はれることであらうさて今十一日となれば官吏の俸給日の二十日とか會理員の俸給日の二十五日の外は閑古鳥でも鳴きさうに閑散だつた日銀出納局に兩換者にとつてのえん魔帳も影を消して對外支拂の兌換やら一般公衆の引換要求に窓口がいそがしくなつて來やうところで

解禁と 同時にどれだけの金くわが海外へ流出するかについては見當がついてゐないので萬一の用意に一億圓の金くわ鑄造に着手したのが十一日までには大阪の鑄造所から先づ二圓万

注意が 拂はれてゐるなほ金解禁直後に出帆する船にはいまだ金積込みの申込は一つもない

上に傳へられていろ〳〵と取沙汰されるので大藏省と内務省の注意で大阪積出しの汽車時間を變更するやら可なりの

喫茶の店
パーラークララ
洋菓子とパンと
平驛前
遠藤パン店
電話七六番

急告
女給さん 三名入用
十七歳より廿三歳まで素人にても差支へありません
西洋料理 ボタン
平町四丁目 電話八五四番

冬の學生服
是非冬服もなかやかでレコめな
な來外いとらる生套です自地信裁縫を持共にて申お奬分
小學生用（長ヅボン付）
一號 七歳用 一圓八〇錢
二號 八歳用 二圓〇〇錢
三號 九歳用 二圓二〇錢
四號 十歳用 二圓四〇錢
五號 十一歳用 二圓六〇錢
中學生用
一號 一年生 四圓〇〇錢
二號 二年生 四圓四〇錢
三號 三年生 四圓八〇錢
四號 四年生 五圓二〇錢
五號 五年生 五圓六〇錢
六號 六年生 六圓〇〇錢
七號 七年生 六圓四〇錢
八號 八年生 六圓八〇錢
九號 九年生 七圓二〇錢
十號 十年生 七圓六〇錢
十一號 十一年生 八圓〇〇錢
十二號 十二年生 八圓四〇錢
十三號 十三年生 八圓八〇錢
◎各學校制定ボタンハ十五錢高
中學外套も十月中旬より賣出します
平二丁目 おかや洋服店 電話二〇五番

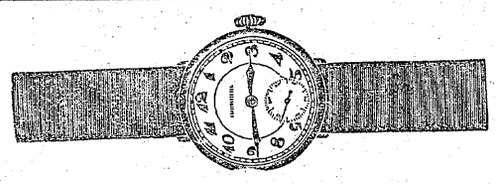
生徒募集 學則及び入學案内 申込次第進呈す
自動車界今後の大發展に順應せんが爲め、本校茲に見る所あり、有爲の青年の爲め奉仕的破格の授業料を特定し大募集を開始せり。先づ來りて本校獨特の教授を見られん事をのぞむ。實地練習の長時間にして學資の低廉なること全國無比、本校の最も誇りとする所なり。本校出身者の受驗者は實に七割以上の合格率を有し現在入學生七十餘名の多數なり。
一、本科 三ケ月卒業 六十圓 學科實習費共 三ケ月分
一、速成科 二ケ月卒業 四十五圓 學科實習費共 二ケ分月
一、受驗科 一ケ月卒業 三十圓 學科實習費共 一ケ月分
◎受驗準備短期練習部 毎月試驗前十日間全學費 十圓
◎卒業生は試驗前無料練習の便あり
◎時間貸値下 新フオード一時間 二圓 シボレー一時間 三圓 T型フオード一時間 二圓
◎入學料ハ今回ニ限リ免除ス
公認 時間迎貸 歡
磐城自動車學校
福島縣平町四町軒町 電話六四〇番

每月一日新學期開始
世界的の人藥王
責任藥無效返金

此の有名な美神丸を、夫婦仲のよくなる美神丸を數ケ年に亘る惡性の子宮病に惱む人を研究臺として發明したる理想的藥劑主婦之友、婦人倶樂部、婦女界、婦人世界等有名四大雜誌に效果が發表になつてあります
定價一週分四十錢 十週分參圓五拾錢
平町古鍛冶町（縣社ノ下）
地方代理店 阿康藥店 電話四四番

▲職工募集▼
一、家具指物職人 五名
但シ相當經驗ヲ有シ永勤出來得ル者詳細面談ス
平町三丁目 丸はん家具店 電話三五九番
平町新田前 申込所 丸はん家具製作所 電話七二三番

共濟病院 各科專門
耳鼻咽喉科 醫學士 井上俊次郎
產婦人科 醫學博士 渡部貞助
外科 醫學博士 松枝茂
內科 醫學博士 桂重次
醫學博士 氏家憲介
醫學博士 難波睦
X光線 醫學博士 中西林藏
醫學博士 難波睦
衛生試驗所 技師 工藤慶藏
醫學博士 中西林藏
技師 小熊英夫
◎藥局 藥劑士 吉本孝平
本院醫事法制囑託 法學士 岡蕃
本院主任 賀澤忠治
一、衛生試驗所
一、病氣相談所
一、救療所 （共濟病院）
◆共濟病院は皆さんの病院であります 御氣付のことは御注意願ひます
平町 電六四一番 磐城 共濟會
◎看護婦募集



時計の御用は一直線に
ダイヤ堂へ
確實…迅速…親切…廉價！
時計、眼鏡、蓄音機、貴金屬 ピクターレコード特約店
ダイヤ堂 鈴木時計店
福島縣平驛前（新道） 電話（呼）八〇五番